

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場
 所管課 農政部 畜産課
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人山梨県子牛育成協会	○	H18.4.1	～	H23.3.31	5年	929,407,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会 (H23.3.31まで財団法人)	○	H23.4.1	～	H28.3.31	5年	962,954,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	H28.4.1	～	R3.3.31	5年	976,117,000
公益財団法人山梨県子牛育成協会	○	R3.4.1	～	R7.3.31	4年	758,513,000

2 施設の概要

所在地	本場:北杜市小淵沢町大平10061 天女山分場:北杜市大泉町西井出8240-1
設置年月日	昭和43年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立八ヶ岳牧場設置及び管理条例
設置目的	農家家畜を受託放牧するとともに、県有牛を改良増殖し繁殖牛・肥育素牛を供給し、もって本県の畜産振興に資することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)家畜の飼養管理及び改良増殖に関する業務 (4)牧草の栽培に関する業務 (5)家畜排せつ物のたい肥化に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約583ha ○建物延面積6,202.67㎡ ○建物の構造 RC、鉄骨造 ○建物の概要 ・八ヶ岳牧場看視舎 RC 250㎡ ・避難舎 鉄骨造 918㎡ ・分娩・衛生舎棟 389.67㎡ ・畜舎 鉄骨造 772.8㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 581㎡ ・家畜排泄物処理施設 鉄骨造 1,811.2㎡ ・育成牛舎 鉄骨造 1,080㎡ ・飼料庫 400㎡ ・哺育・育成牛舎 鉄骨造 725.44㎡ ・堆肥処理施設 鉄骨造462.56㎡ ○その他施設 ・草地:331ha(採草地77ha、放牧地254ha)
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	・令和2年12月3日 哺育・育成牛舎の新設 725.44㎡ 工事費 134,999,700円 ・令和3年3月18日 堆肥処理施設の新設 462.56㎡ 工事費 73,958,500円

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	241,968,920	250,054,050	236,268,110	239,305,830	246,999,300	
支出合計	230,368,528	230,091,804	224,871,627	226,437,113	239,960,238	
収支差額	11,600,392	19,962,246	11,396,483	12,868,717	7,039,062	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	123,187頭	124,083頭	116,917頭	109,549頭	134,875頭	農家家畜の年間受託延べ頭数
	159頭	153頭	154頭	133頭	147頭	県有牛の供給頭数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

肉用牛において夏期に入牧希望が殺到したことに加え、冬期預託において新牛舎を有効活用したため、受託頭数は実頭数・延頭数ともに過去最高となり、目標頭数(120,000頭)を大幅に上回った。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

全国的な飼料価格高騰により畜産農家の経営が苦しい中、受託頭数が過去最高となり、畜産農家の負担軽減を図る公共牧場としての役割を果たしていることは大変評価できる。また、良質な堆肥の安定生産や、的確な人工授精を行っており、利用者からも高い満足度を得ている。

今後は、ヨーネ病患者の早期発見や衛生対策を徹底することでヨーネ病清浄化農場への早期復帰に取り組み、利用者の要望に応えながら、家畜受託、県有牛の生産、堆肥生産、人工授精技術の更なる向上等に努めること。また、今後も飼料や肥料の価格高騰が続くと考えられることから、削減可能な経費の見直しや、自給粗飼料の安定確保に努め、収支状況の改善に取り組むこと。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

飼料価格や燃料価格等が高騰する中で、できる限りの経費削減を図り、収支において黒字を確保した。今後、更なる価格高騰も想定され農家からの預託需要も増えることが見込まれることから、経費削減を一層徹底するとともに、自給飼料の生産向上に努めるほか、甲州牛の生産拡大に向け、県有牛の生産、預託を増やすなど、当施設が担う役割を着実に果たしていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立八ヶ岳牧場
 所管課 農政部 畜産課
 指定管理者 公益財団法人山梨県子牛育成協会

1 利用状況 (単位:頭、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用頭数	受託頭数(延べ頭数)	123,187	124,083	116,917	109,549	134,875
	利用頭数合計	123,187	124,083	116,917	109,549	134,875
	目標値	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	実績/目標割合	102.7%	103.4%	97.4%	91.3%	112.4%
	目標値の設定方法	過去5年間の平均受託頭数で設定				
利用率	稼働率等(利用率)	337.5頭	340.0頭	320.3頭	300.1頭	369.5頭
	稼働率等(利用率)の算定方法	延べ受託頭数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

管 分娩舎改修工事	2,516,282
管 哺育・緬羊舎・スタンション牛舎照明改修工事	1,069,981
管 家畜運搬車リアゲート開閉修理 他41件	4,968,217

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況 (単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	241,968,920	250,054,050	236,268,110	239,305,830	246,999,300
	施設利用料	46,990,920	46,996,050	45,086,110	42,592,830	53,384,300
	指定管理委託料	194,978,000	203,058,000	191,182,000	196,713,000	193,615,000
支出	B 支出額計	230,368,528	230,091,804	224,871,627	226,437,113	239,960,238
	人件費	142,488,408	140,381,644	133,082,141	133,392,990	129,390,207
	修繕費	5,765,572	6,465,445	6,147,360	7,193,905	8,554,480
	光熱水費	3,480,704	3,561,946	3,885,791	3,764,812	4,277,964
	消耗品費	12,728,568	11,928,317	13,039,946	12,315,963	16,466,068
	飼料費	19,508,290	20,054,724	20,949,769	19,209,889	31,961,575
	燃料費	3,282,289	3,960,293	3,600,529	2,969,989	4,211,139
	医薬材料費	5,901,234	5,746,382	6,663,525	6,578,611	7,689,442
	原材料費	20,086,416	19,094,605	16,749,199	18,329,204	19,364,462
	工事請負費		800,000	1,777,600	2,299,000	485,100
	保険料	961,770	942,500	977,998	908,520	1,024,400
	公課費	357,400	570,100	599,000	556,000	657,000
	消費税	11,706,040	12,009,000	11,918,100	12,916,600	9,741,700
	その他	2,019,457	2,187,110	2,406,397	2,854,775	3,168,334
	外部委託費	2,082,380	2,389,738	3,074,272	3,146,855	2,968,367
	電気・ガス・水道点検等	2,082,380	2,389,738	3,074,272	3,146,855	2,968,367
外部委託比率	0.9%	1.0%	1.4%	1.4%	1.2%	
県への納付金						
収支差額(A-B)		11,600,392	19,962,246	11,396,483	12,868,717	7,039,062
一人当たり指定管理者委託料*		1,582.8	1,636.5	1,635.2	1,795.7	1,435.5

* 指定管理者委託料÷利用頭数(単位:円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和4年1月～3月 実施方法:令和3年度の預託利用者および売却牛と堆肥の購入者へのアンケート(聞き取り・郵便) 回答数:111名			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
家畜の受託に対する満足度	99.5%	0.5%		
県有家畜の売却に対する満足度	90.9%	9.1%		
たい肥の売却に対する満足度	78.0%	21.7%	0.3%	
八ヶ岳牧場の事業に対する満足度	85.1%	14.6%	0.3%	
施設全般の満足度	90.2%	9.8%		
利用者の主な意見	【家畜の受託】 ・受胎不良牛を妊娠させてもらい感謝。 ・1頭でも多く受け入れてもらいたい。 【県有家畜の売却】 ・牧場牛は大きく育つ。 ・成績のよい他県の県有種雄牛の精液を使用して欲しい。 【たい肥の売却】 ・良質で臭いもなく満足している。運搬してもらえるので有難い。			
利用者の意見への対応	【家畜の受託】 ・飼料費の高騰などにより入牧希望が増えていることを踏まえ、利用者のニーズに適切に対応していく。 【県有家畜の売却】 ・血統や育種価を重視し県有牛の改良を進め、更に優良な子牛の生産に努めていく。家畜改良や飼料管理に関する情報提供や技術の共有を図り、県全域での管理技術の向上を図っていく。 【たい肥の売却】 ・高品質なたい肥の生産並びに販路開拓に向けPRを図っていく。 ・堆肥の販売価格を引き下げ、堆肥利用者の拡大促進を図っていく。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業 務	施設、備品等の適切な保全管理に努めてきた。車輛、農機具の経年劣化による故障が効率的な業務執行の妨げになっているので、今後計画的更新が必要である。	施設等の老朽化が進む中、適切な保全管理を行っている。引き続き、定期的な点検等により適切な管理に努めること。老朽施設、備品等の更新などについて今後検討していきたい。 また、災害対応について職員意識の一層の向上に努め、利用家畜の安全確保を図ること。
運営業務	県内飼養戸数・頭数の減少傾向の中で、預託した家畜のほとんどが、人工受精卵技術で受胎させてもらえることが評価され利用者の多くはリピーターとなっている。更に新規利用者へのPRを行うとともに、家畜伝染病まん延防止対策を強化し衛生管理と検査の徹底を図る。	受託頭数は目標を達成しており、また、受託家畜への人工授精受胎率がかなり高いことは、大変評価出来る。引き続き、預託農家の要望に添った人工授精を行い、利用頭数の確保に努めること。
利用状況	売却頭数は、令和元年度にヨーネ病が確認された影響により減少していたが、令和3年度は前年度より14頭増加した。 農家等が保有する乳用牛、肉用牛の牧場利用頭数は実頭数・延頭数とも過去最多となった。特に肉用牛においては夏期に入牧希望が殺到したことに加え、冬期預託において新牛舎を繁殖牛用に変更したため延頭数は前年対比141%となった。	ヨーネ病摘発により減少していた県有牛売却頭数も摘発前と同等に戻つつあり、適切な衛生対策が講じられている。引き続き、施設内の衛生対策を徹底し、清浄化農場への早期復帰に努めること。 利用頭数は過去最多となり、預託希望農家の要望に応えられていることは評価できる。今後も、新規利用者を含めPR活動により安定した利用頭数の確保に努めること。
収支状況	牧場利用頭数が増加したことにより利用料収入は増加したが、冬期貯蔵飼料の生産量が足りず、不足分を購入粗飼料に依存せざるを得なかったことや、配合飼料、肥料等の高騰により経費が大幅に増加したため、収支差額は縮小した。	利用頭数が増加したことにより利用料収入は増加したが、全国的な配合飼料及び肥料価格高騰により収支差額が昨年度と比較し大幅に縮小した。 価格高騰の影響もあり、苦しい状況が続くと考えられるが、今後も経費の削減や、自給粗飼料の安定確保に努め、収支状況の改善に取り組むこと。
自主事業		
利用者満足度	利用者の全てが、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答しており、満足度は非常に高い。	利用者のほとんどから高い満足度が得られていることは、高く評価できる。 今後も継続して、利用者満足度の維持向上に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

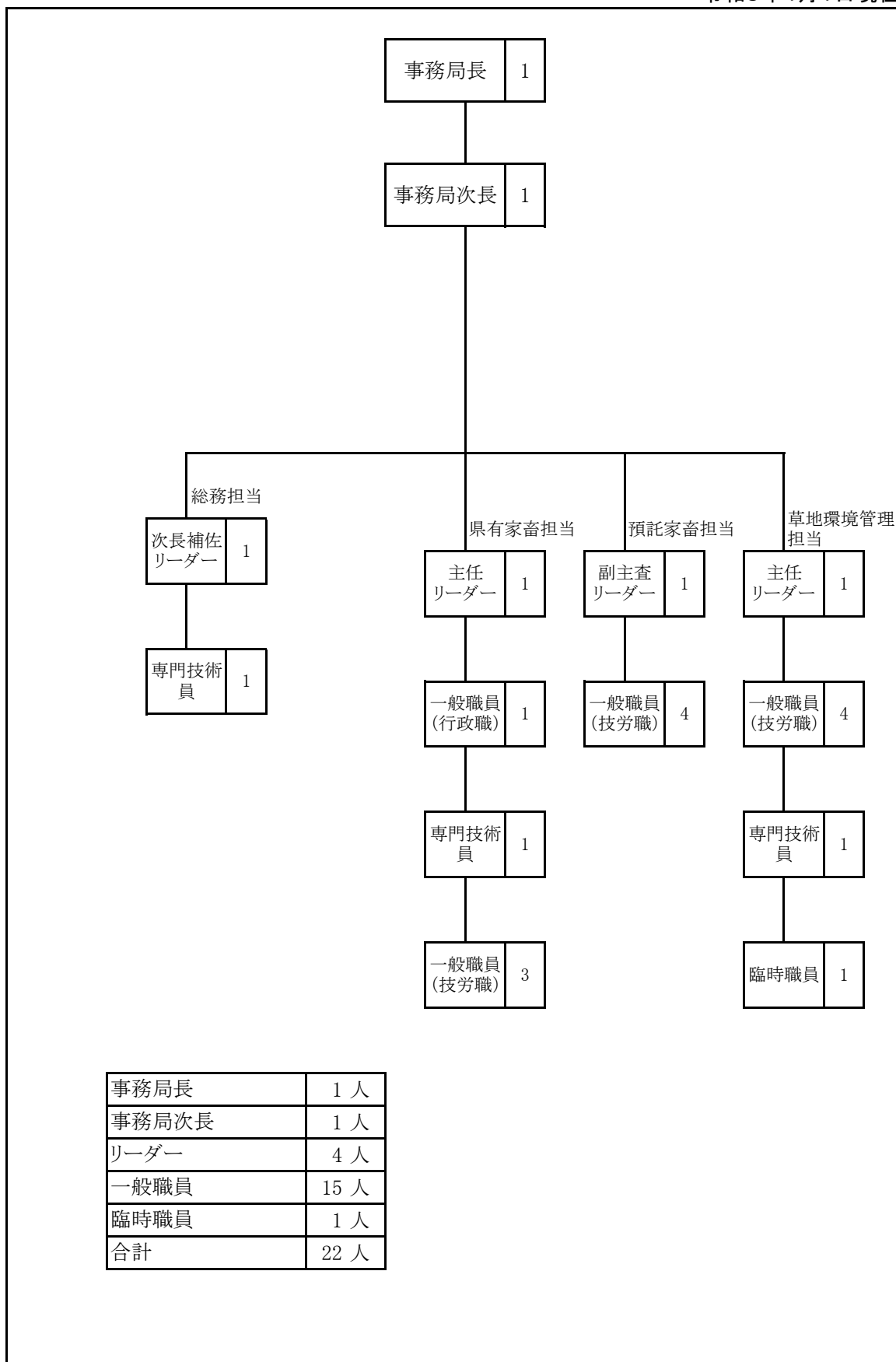
8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
家畜の改良 増殖に関する 業務	農家から預託された家畜の95%以上を人工授精により受胎させることができる高度な人工授精技術を有しており、大変評価できる。	引き続き、人工授精技術の更なる向上に努め、農家の満足度向上を図ること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在



事務局長	1 人
事務局次長	1 人
リーダー	4 人
一般職員	15 人
臨時職員	1 人
合計	22 人